

日本文化財科学会第39回大会 プログラム

口頭発表

9月10日(土)

口頭発表(第1会場・105講義室)

開会式		9:30-9:45 会長あいさつ、実行委員長あいさつ、大会事務局長による事務連絡
年代測定	A-1	9:50-10:08 木材の年代決定に特化した過去2500年にわたる酸素同位体比標準年輪曲線の構築 ○佐野雅規、李貞、村上由美子、神野恵、浦蓉子、金田明大、中塚武
	A-2	10:08-10:26 古建築14C年代調査報告の記述について ○中尾七重
	A-3	10:26-10:44 9・10世紀の日本産樹木の単年輪14C測定 ○坂本稔、門叶冬樹、光谷拓実
古環境	A-4	10:44-11:02 石器残存脂質分析による「磨痕石」皮革加工具説の検証 ○庄田慎矢、村上夏希、柚原雅樹、福田健司、タルボット・ヘレン、クレイグ・オリヴァー、植月学
11:02-11:20 休憩(18分間)		
保存科学	A-5	11:20-11:38 文化財を活用したユニークメニューにおける調査3ー活用科学のための調査ー ○松井敏也、深見利佐子、河崎衣美、村野正景、村上佳代
	A-6	11:38-11:56 収蔵庫における汚染物質濃度低減について ○及川雅史、長宗寧
	A-7	11:56-12:14 文化財建造物の障壁画の保存・公開時における環境調整方法に関する研究 ー二条城御常御殿の温湿度環境予測に基づく公開方法の検討ー ○小椋大輔、米田昌弘、伊庭千恵美、高取伸光、岡村知明
12:14-12:30 休憩(16分間)		
企業セミナー	KA-1	12:30-13:30 『蛍光X線分析』と『3D技術』の文化財業界への活用 株式会社三ツワフロンテック
	KA-2	13:40-14:40 陶による文化財の複製品の活用 大塚オーミ陶業株式会社
14:40-15:00 休憩(20分間)		
保存科学	A-8	15:00-15:18 モザイク装飾の物理的劣化に関する研究その1) ビザンティン建築に残る壁面モザイクを対象とした塩類風化の数値解析 ○箭野早耶華、安福勝、佐々木淑美、小椋大輔
	A-9	15:18-15:36 レンガ造煙突の脱塩方法に関する基礎的研究その2) イオンの移流を利用した脱塩 ○木村藍香、安福勝、麓隆行、宇野朋子、伊庭千恵美
	A-10	15:36-15:54 博物館内における遺構の展示手法と周辺環境の最適化に関する研究 ー遺構展示室内の環境調査と遺構の埋戻し方法の検討ー ○藤井佐由里、脇谷草一郎、渡邊英明、田中祐二、柳田明進、川越光洋、高妻洋成
	A-11	15:54-16:12 “BlackSpots”の正体は何か?ー還元性硫黄化合物が展示時の銅製遺物の劣化に及ぼす影響 ○柳田明進、脇谷草一郎、木川りか、佐藤嘉則、志賀智史、小泉恵英、内野義、安木由美、高妻洋成
16:12-16:30 休憩(18分間)		

ワーキンググループ	WA-1	16:30-17:30 東アジア文化遺産保存学会 今津節生、高妻洋成、西浦忠輝
	WA-2	17:30-18:30 石造文化財の保存修復ワーキンググループ 脇谷草一郎、石崎武志、岩崎好規、西浦忠輝、小椋大輔、星野玲子

口頭発表 (第2会場・203講義室)

開会式		9:30-9:45 (第一会場をライブ配信)
文化財科学一般	B-1	9:50-10:08 千葉県内縄文時代遺跡の土壌について ○近藤敏
	B-2	10:08-10:26 新型検出器を搭載した可搬型蛍光X線分析装置の開発と古代ガラス製品の非破壊オンサイト分析への応用 ○阿部善也、村串まどか、椎野博、永井宏樹、中嶋佳秀、
	B-3	10:26-10:44 “日本最古の文字”の科学的分析—田和山遺跡出土石製品のラマン分光分析を中心に— ○岡見知紀、清水洋、岡島康雄、山垣美恵子
	B-4	10:44-11:02 富岡市・オオツノシカの化石骨出土記念碑について ○朽津信明、白石明香
11:02-11:20 休憩 (18分間)		
文化財科学一般	B-5	11:20-11:38 北限の稲作地帯における土器残存脂質分析 ○宮田佳樹、宮内信雄、堀内晶子、上條信彦
	B-6	11:38-11:56 石神遺跡出土土器の残存有機物に対する試験的分析 ○村上夏希、森川実、庄田慎矢
	B-7	11:56-12:14 北海道函館市中野B遺跡出土土器の残存脂質分析 ○福井淳一、村本周三、堀内晶子、宮内信雄、宮田佳樹
12:14-12:30 休憩 (16分間)		
企業セミナー	KA-1	12:30-13:30 (第一会場をライブ配信)
	KA-2	13:40-14:40 (第一会場をライブ配信)
14:40-15:00 休憩 (20分間)		
文化財科学一般	B-8	15:00-15:18 大湯環状列石では何を調理していたのだろうか ○宮内信雄、堀内晶子、赤坂朋美、木ノ内瞭、宮田佳樹
	B-9	15:18-15:36 埋葬人骨周辺土壌からのヒトDNA解析 ○澤藤りかい、澤浦亮平、横尾昌樹
	B-10	15:36-15:54 大山寺宮殿(厨子)の部材の樹種に関する考察 ○上妻みのり
	B-11	15:54-16:12 Minecraftを利用した遺跡体験システムの試行 ○山口欧志、上椋英之、村田泰輔、金田明大
16:12-16:30 休憩 (18分間)		
ワーキンググループ	WB-1	16:30-17:30 人新世に至る、モノを通した自然と人間の相互作用に関する研究 坂本稔、齋藤努、米田穰
	WB-2	17:30-18:30 「土壌やイネ種子からどれだけの稲作情報が引き出せるのか？」ワーキンググループ 宇田津徹朗、上條信彦、田中克典

口頭発表 (第3会場・106講義室)

ワーキンググループ	WC-1	16:30-17:30 科学調査の倫理観ワーキンググループ 大西智洋、沓名貴彦、鳥越俊行、比佐陽一郎、松井敏也
-----------	------	---

ワーキンググループ	WC-2	17:30-18:30 彩色材料分析研究会 早川泰弘、谷口陽子、北野信彦、青木智史、降幡順子
-----------	------	--

口頭発表(第4会場・演習室25)

ワーキンググループ	WD-1	16:30-17:30 第六回土器科学分析ワーキンググループ 宮田佳樹、西田泰民、小林謙一、村本周三、福井淳一、宮内信雄、堀内晶子、吉田邦夫
-----------	------	--

9月11日(日)

口頭発表(第1会場・105講義室)

保存科学	A-12	9:30-9:48 多孔質材料中の硫酸ナトリウムの塩析出の定量評価と飽和透水係数の推定におけるCTの利用可能性 ○水谷悦子、小椋大輔、安福勝
	A-13	9:48-10:06 同一石材で造られた石棺の劣化状態および保存環境の比較による乾湿繰り返しによる石材劣化メカニズムの検討 ○脇谷草一郎、杜之岩
探査	A-14	10:06-10:24 新町遺跡の地中レーダ探査 ○水永秀樹、田中俊昭、井上忠一
	A-15	10:24-10:42 奈良県島の山古墳周濠内部の探査 ○高橋克壽

10:42-11:00 休憩(18分間)

文化財防災	A-16	11:00-11:18 熱可塑性樹脂を用いた石材表面形状の印象精度の検証 ○澤田茉伊、三村衛
	A-17	11:18-11:36 アンコール遺構バイヨン寺院主塔の温暖化に伴う気候変動に対する保全対策 ○岩崎好規、福田光治、石塚充雅、中川武
	A-18	11:36-11:54 文化財防災センター発足後の取り組み ○小谷竜介、高妻洋成、建石徹
	A-19	11:54-12:12 滋賀・浄土寺所蔵天部形立像の転倒防止に関する研究—シミュレーション解析を利用して— ○中屋菜緒、小林茂宜、伊藤旭人、降幡順子

12:12-12:40 休憩(28分間)

授賞式・会長挨拶		12:40-13:10
ポスター発表 コアタイム	P-1~20	13:15-13:55
	P-21~40	13:55-14:35

14:35-14:45 休憩(10分間)

産地	A-20	14:45-15:03 福岡県船原古墳出土馬具の鉛同位体比分析—ガラス装飾付馬具を中心に— ○村串まどか、齋藤努、西幸子、甲斐孝司、岩橋由季、加藤和歳、小林啓、桃崎祐輔
	A-21	15:03-15:21 壁画朱の硫黄同位体比分析のための石膏除去の試み ○神谷嘉美、飯塚義之、高橋和也、南武志
	A-22	15:21-15:39 猪ノ鼻(1)遺跡出土玉類等のXRF、ESR、XRDによる非破壊分析 ○薬科哲男、田村朋美、木村高
	A-23	15:39-15:57 プハラオアシス出土のガラス製遺物のSr同位体比分析 ○田村朋美、新免歳靖、遠藤綾乃、細川貴子、竹田多麻子、二宮修治、Rocco Rante
閉会式		15:57-16:15 会長あいさつ、実行委員長あいさつ、40回大会実行委員長あいさつ、 大会事務局長による事務連絡

9月11日(日)

口頭発表(第2会場・203講義室)

材質・技法	B-12	9:30-9:48 ミュオン非破壊分析法による古後藤の目貫の深さ方向分析 ○齋藤努、反保元伸、土居内翔伍、梅垣いづみ、三宅康博
	B-13	9:48-10:06 首里城跡継世門北地区出土金製“厭勝銭”の負ミュオンを用いた非破壊による深さ方向分析 ○沓名貴彦、新垣力、反保元伸、竹下聡史、梅垣いづみ、土居内翔伍、三宅康博
	B-14	10:06-10:24 出雲市鹿蔵山遺跡出土奈良三彩の胎土分析 ○小倉頌子、奥山誠義、坂本豊治、高橋照彦、黒田祐介
	B-15	10:24-10:42 矢本横穴出土鈔帯の自然科学分析 ○山口繁生、山岡奈美恵、塚本敏夫、植田直見、中沢隆、菅原弘樹
10:42-11:00 休憩(18分間)		
材質・技法	B-16	11:00-11:18 三味塚古墳出土金銅製馬形飾付冠の復元模造品製作 ○塚本敏夫、小村真理、山岡奈美恵、中川泰郎、忽那敬三、小澤重雄
	B-17	11:18-11:36 テレセントリック光学系を用いた金の光沢ムラ測定 ○井上信一、中村颯、五十嵐美穂、星武幸、佐藤弘美、溝上陽子
	B-18	11:36-11:54 土器の圧痕および混入繊維の観察におけるX線CT画像の有効性 ○山本華、佐々木由香、鳥越俊行、宮田将寛、隈本健介
	B-19	11:54-12:12 土器圧痕同定のためのX線CT画像を用いた現生種実の形態把握 ○佐々木由香、山本華、鳥越俊行、宮田将寛
	B-20	12:12-12:30 加熱を用いた炭化物および土器の基礎的研究 ○金原正明、橋本輝彦、金原美奈子、西村奏
12:30-12:40 休憩(10分間)		
授賞式・会長挨拶		12:40-13:10(第一会場をライブ配信)
ポスター発表 コアタイム	P-41~60	13:15-13:55
	P-61~87	13:55-14:35
14:35-14:45 休憩(10分間)		
材質・技法	B-21	14:45-15:03 若狭国鎮守神人絵系図の彩色材料調査—復元模写事業を踏まえて— ○降幡順子、井並林太郎、富澤千砂子
	B-22	15:03-15:21 シルクロード沿線に用いられた紫鉱絵具について-絵具の制作材料と使用形態(2) ○曹智健、塚田全彦
	B-23	15:21-15:39 文化財染織品に使用された染料の非破壊的分光分析と二次微分解析の有効性 ○佐々木良子、岡村知明、佐々木健
	B-24	15:39-15:57 奈良・中宮寺所蔵国宝「天寿国繡帳」の染料分析 ○中村力也、鶴真美、内藤栄
閉会式		15:57-16:15(第一会場をライブ配信)

ポスター発表

年代測定	P-1	三鷹市丸山A遺跡出土縄紋後期土器の年代と土器残滓物の研究 ○小林謙一、Danisik, M、伊藤久敏、米田稜、大森貴之、尾崎大真、西本志保子、宮田佳樹
	P-2	曲物の年輪年代測定からみた平城宮・京跡出土遺構の数値年代—土器の年代観との対応関係— ○前田仁暉、星野安治、浦蓉子、高妻洋成
	P-3	愛知県萩平遺跡出土焼礫の熱ルミネッセンス年代測定による考察 ○下岡順直、長井謙治、川野良信
	P-4	炭素14年代法による誤差0年決定の現状と展望 ○箱崎真隆
古環境	P-5	野生イネの生産量推定に関する基礎的研究(1) ○宇田津徹朗、石川隆二、一谷勝之、志水勝好
	P-6	中世死馬の用途、利用集団と場面を解体痕から探る ○植月学
	P-7	マルタニシの遺伝子解析をもとにヒトの移住を読む(その1) ○松本建速、倉持卓司
材質・技法	P-8	ミャンマー・バガン遺跡における煉瓦造寺院の保存修復効果 ○前川佳文、ダニエレ・アンジェロット、デニス・ザネッティ、マリア・レティツィア・アマドリー、チー・リン
	P-9	蛍光X線分析による天理参考館所蔵加彩武人俑の顔料分析 ○青木智史
	P-10	国宝「初音の調度」のうち刀掛、寄り掛り、掛硯箱(胡蝶蒔絵)の木地構造および制作技法のX線CT調査 ○渡辺祐基、川畑憲子、板谷寿美、吉川美穂、田中麻美、木川りか
	P-11	陶磁器製作に使われる糊の効果—焼成に伴う顔料の成分変化— ○樋口智寛、新免歳靖、水本和美
	P-12	モンゴル国・突厥時代ザーマル古墳出土木製遺物の彩色顔料に関する調査 ○柳成煜、今津節生、成瀬正和、デ・ウランチメグ、オユントルガ・メンドバザル
	P-13	古代エジプト新王国時代におけるガラスの白濁技法の変遷の解明 ○工藤洋大、阿部善也、小野塚拓造、山花京子
	P-14	光ルミネッセンス特性を用いた被熱温度推定法の再検討 ○下岡順直、高井康宏
	P-15	平野塚穴山古墳出土の棺の科学分析 ○本多貴之、下大迫幹洋、宮路淳子
	P-16	明治期に用いられた初期合成染料と基礎情報の調査 ○片淵奈美香、谷田貝麻美子
	P-17	吉備地方の埴輪胎土の岩石学的研究 ○野坂俊夫、大林直矢、杉浦香葉子、野崎貴博、松本直子、清家章
	P-18	岡山県三須丘陵に分布する古墳の横穴式石室石材の岩石学的研究 ○野坂俊夫、金子峻大、松本直子、清家章
	P-19	幕末期の蒸気船に使われた銅板の外国製と日本製の組成比較 ○田端正明
	P-20	群馬県出土耳環の材質分析 ○板垣泰之、西脇拓哉、林史夫
	P-21	首里城跡西のアザナ地区における非鉄金属生産に関する科学調査 ○杓名貴彦、新垣力
	P-22	出土品からみる古墳時代金工品の技術と材料 —藤ノ木古墳及び上塩冶築山古墳出土品を例として— ○奥山誠義、河崎衣美、小倉頌子、青柳泰介、北井利幸、平井洗史、重見泰、吉村和昭、卜部行弘、横須賀倫達、坂本豊治、澤田正明
	P-23	群馬県から出土した耳環、76資料380点のXRF測定と統計解析のこころみ ○西脇拓哉、林史夫、板垣泰之
	P-24	高松塚古墳から出土した棺金具の付着物質に関する分析 ○中田愛乃、田村朋美、脇谷草一郎、柳田明進、廣瀬覚、石橋茂登、岡林孝作、奥山誠義、勝川若奈、米村祥央、森井順之
P-25	船原古墳出土歩揺付飾金具(雲珠)の構造技法解析 ○加藤和歳、小林啓、甲斐孝司、西幸子	
P-26	繊維遺物鑑別のための基礎研究—現生纈標本を用いた繊維およびファイトリスの形態観察— ○伊藤美香、小原奈津子、小林和貴、佐々木由香	
P-27	ウズベキスタン・プハラオアシス内遺跡から出土した初期イスラームガラスの化学分析 ○新免歳靖、遠藤綾乃、細川貴子、竹田多麻子、二宮修治、田村朋美、Rocco Rante	

産地	P-28	カンボジアの前アンコール期の玄武岩造寺院と玄武岩の供給源に関する研究 ○内田悦生、武山達、小林宣允、斎藤有
	P-29	奈良時代の製塩土器の生産地推定 ○神野恵、河西学
	P-30	いわき市と久慈市産琥珀のPyro-GC/MSによる分類について ○植田直見、渡邊緩子
	P-31	葛西城址出土の鉄砲玉の材質と材料産地推定 ○三浦麻衣子、藤澤明、畑大介、永越信吾
	P-32	上越市下馬場遺跡出土黒曜石製石偶の石材原産地推定 ○森貴教、青木要祐、佐々木繁喜
保存科学	P-33	陶器における中間層の生成原因の研究―唐津焼を代表資料として― ○隋藝博、小椋聡子、三上亮、桐野文良
	P-34	全天空写真による日射が石造文化財に及ぼす影響の推定 ○杜之岩、脇谷草一郎、王金華
	P-35	文化財建造物における障壁画の保存・公開に関する研究 ―実環境下における障壁画の熱湿気性状を考慮した絵具の変褪色要因の検討― ○乙守倫太郎、高取伸光、小椋大輔、岡村知明、高林弘実、貴田啓子
	P-36	地下にある文化財収蔵庫におけるデシカント式除湿機による 高温対策の検討 ○黒瀬修一、小椋大輔、伊庭千恵美、高取伸光、北原博幸、浜口守、滝田義規
	P-37	蛍光X線を用いた多孔質材料表面近傍の塩濃度分析手法の検討 ○酒井紘太郎、高取伸光、脇谷草一郎、小椋大輔
	P-38	出土鉄製遺物の保存処理に使用されたアクリル樹脂の劣化 ○植田直見、川本耕三、山口繁生、大橋有佳、渡辺智恵美、山田卓司
	P-39	塩類風化に対する新規ガラス薄膜形成技術の効果 ○星野玲子、岩宮陽子、里村一人
	P-40	法隆寺金堂飛天壁画の模擬下地材料を対象とした湿潤・乾燥時のひずみの測定 ○石川和輝、小椋大輔、伊庭千恵美、高取伸光、脇谷草一郎
	P-41	博物館内における遺構生物劣化と保存対策に関する検討 ―遺構展示室における微生物調査― ○渡邊英明、佐藤嘉則、島田潤、藤井佐由里、田中祐二、川越光洋、高妻洋成
	P-42	出土銅製品に施された漆塗膜の剥離メカニズムの検討 (その1) ―カールした塗膜とその金属下地の状態把握― ○楊曼寧、柳田明進、奥山誠義、脇谷草一郎
	P-43	溶媒蒸発速度の制御による水浸出土木製遺物の保存処理における薬剤含浸の効率化 (その3) ○松田和貴、脇谷草一郎、高妻洋成
	P-44	歴史的煉瓦建築物の塩類風化対策に関する研究 ―塩を含む材料中の含水率、塩濃度の測定方法と電気的脱塩方法に関する基礎的検討― ○承潤之介、小椋大輔、脇谷草一郎、水谷悦子
	P-45	福岡県福岡市博多遺跡群から出土した鉄釘の腐食層構造 ○三ツ井誠一郎、石寺孝充、比佐陽一郎
	P-46	史跡名勝瑞泉寺庭園における庭石の風化状況に関する調査 ○莊旺璋、脇谷草一郎、柳田明進、高妻洋成
	P-47	特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の景石保存に関する研究 ―周辺環境が景石の劣化におよぼす影響― ○脇谷草一郎、藤井佐由里、藤田若菜、柳田明進、渡邊英明、川越光洋、高妻洋成
	P-48	トレハロース処理法の寸法安定性に関する考察1 ―接触角から推定される結晶形態による検討― ○肖舒尹、脇谷草一郎、松田和貴、柳田明進、田村朋美、高妻洋成
	P-49	法隆寺金堂収蔵庫における壁画の保存・公開に関する研究 ―2021年限定公開における収蔵庫内環境測定値の検討― ○今岡知晃、小椋大輔、木川りか、和田浩、吉田直人、建石徹、秋山純子、佐藤嘉則、藤井義久、北原博幸、森井順之、伊庭千恵美、高取伸光、石川和輝
	P-50	トレハロース法による 海底遺跡出土大型木材の保存処理について (2) ―隔壁板の表面処理と鉄釘の経過観察― ○安木由美、小林啓、伊藤幸司
	P-51	電気化学的脱塩工法を用いた煉瓦脱塩への試み3 ○深見利佐子、松井敏也
	探査	P-52

文化財防災	P-53	文化財防災マニュアルのあり方 ○李素妍
	P-54	令和元年東日本台風により被災した水損文書における乾燥剤を用いた凍結乾燥法の応用とシリカゲルの吸着成分分析 ○奥山誠義、中尾真梨子、鈴木雅文、斎藤由美子、松井敏也
	P-55	地震波を受けた博物館用独立展示ケースの振動解析 ○黄川田翔、佐藤栄児、福井弘久、川平孝雄、加藤久雄
文化財科学 一般	P-56	千葉大学考古学研究室における文化財科学研究—近年の事例から— ○阿部昭典、山田俊輔、建石徹
	P-57	千葉県中峠遺跡の文化財科学的研究—下総考古学研究会の活動— ○菅頭明日香、植月学、建石徹、大内千年、千葉毅、小澤政彦、大熊佐智子、金子悠人、合田恵美子、小林謙一、三門準、大村裕
	P-58	デジタルカメラによる赤外線撮影の試み—大坊古墳を対象として— ○石松直
	P-59	プラント・オパール分析による繊維土器の給源植物同定に関する基礎的研究(Ⅰ) ○宇田津徹朗、西田泰民、阿部昭典、水ノ江和同
	P-60	京都市御土居跡出土慶長丁銀極印鑽の自然科学分析 ○関晃史、柏田有香、山口繁生、山田卓司
	P-61	橋野高炉跡水路石垣保存整備のための定点観測(2) ○中静美波、小林恵、森一欽
	P-62	染織品に対する赤外線画像の有効性の検討 ○秋山純子、桑原有寿子、和泉田絢子
	P-63	数値制御切削加工による木製彫刻遺物の再現—木目に対する切れ刃侵入角度の影響— ○大野翔幹、小川圭二
	P-64	新谷古新谷遺跡出土ガラス小玉の自然科学分析 ○若杉勇輝、松村さを里
	P-65	遮光空間・燃焼光下における壁画の見え方の再現 —ハイパースペクトル画像を用いた明度変換プログラムによる検証— ○末森薫、川口拓哉、安室喜弘
	P-66	簡易3次元スキャンを用いた文化財資源情報の共有と活用 ～兵庫県猪名川町多田銀銅山遺跡への適用～ ○安室喜弘、松山昇司、関部奏恵、青木美香、吹田浩、鶴田浩章、小山倫史、肥後時尚、末森薫
	P-67	3次元点群データを直接用いた文化財資源の管理と活用 ～兵庫県猪名川町多田銀銅山遺跡への適用～ ○安室喜弘、島津尚弥、青木美香、鶴田浩章、小山倫史、吹田浩、肥後時尚、末森薫
	P-68	プラント・オパール中の遺伝情報に基づいたイネタイプの検討(Ⅲ) ○田中克典、宇田津徹朗、上條信彦、田崎博之、石川隆二
	P-69	矢本横穴出土銚帯の復元模造作製 ○岡田一郎、塚本敏夫、小村真里、菅原弘樹
	P-70	LiDAR スキャナの教育活用の模索 ○三谷智広、白石哲也
	P-71	3D計測を活用した青銅鏡の修復 ○木林俊英、玉川剛司、渡辺智恵美
	P-72	遺伝的アルゴリズムを応用した進化シミュレーション ○大澤僚也、岸本幹史、山口雄治、坂平文博、津村宏臣
	P-73	文化的相転移の定量評価手法の提案 ○岸本幹史、大澤僚也、山口雄治、坂平文博、津村宏臣
	P-74	三次元モデルを活用した鏡背文様可視化処理について —和泉市惣ヶ池遺跡出土銅鏡の調査から— ○須山貴史、上田裕人
	P-75	東京国立博物館所蔵の古銀貨に関する調査 ○鳥越俊行、西脇康、井出浩正、清水健
P-76	海水損した皮革文化財の保存修復に関する検討 ○田口智子、飯岡稚佳子、桐野文良	
P-77	新潟県の遺跡より出土した中・近世の漆器における材料の変遷 ○大野直輝、本多貴之、清水香	
P-78	東北北部における縄文文化後半期(後北C2・D式期)の食性分析 ○國木田大、佐藤由紀男、井上雅孝、米田稜、設楽博己	
P-79	敦煌文書の紙の漉き質模様抽出とその分析 —古代中国の製紙技法と敦煌偽写本問題について— ○坂本昭二	

文化財科学 一般	P-80	動画による紙漉き動作解析とその多様性について ○坂本昭二
	P-81	ガランドヤ2号墳における緑色生物に関する報告 ○松野美由樹、渡邊隆行、脇谷草一郎
	P-82	千葉県養安寺遺跡から出土した縄文時代中期のシカ遺体を用いた観察・計測分析について ○鬼崎華、江口誠一
	P-83	低コストネットワーク型RTK-GNSSの遺跡調査への利用 ○山口欧志、岸田徹、金田明大
	P-84	愛媛県平城貝塚出土縄文後期人骨 頭蓋骨形態の研究 ○宇佐美礼恩、富岡直人、松本安紀彦
	P-85	縄文後期の武蔵野台地における食生活： 東京都三鷹市丸山A遺跡を中心とした分子レベル炭素安定同位体分析 ○堀内晶子、宮内信雄、小林謙一、宮田佳樹
	P-86	X線CTによる北海道千歳市ウサクマイA遺跡出土蕨手刀の構造解析 ○大江克己、直江康雄、和田由希絵、茅原明日香
	P-87	中世地変痕跡と断層活動履歴の文化財科学的研究—京都盆地北部西縁断層帯を例に— ○中塚良、辻本裕也